

第19回がん体験共有会開催のご案内

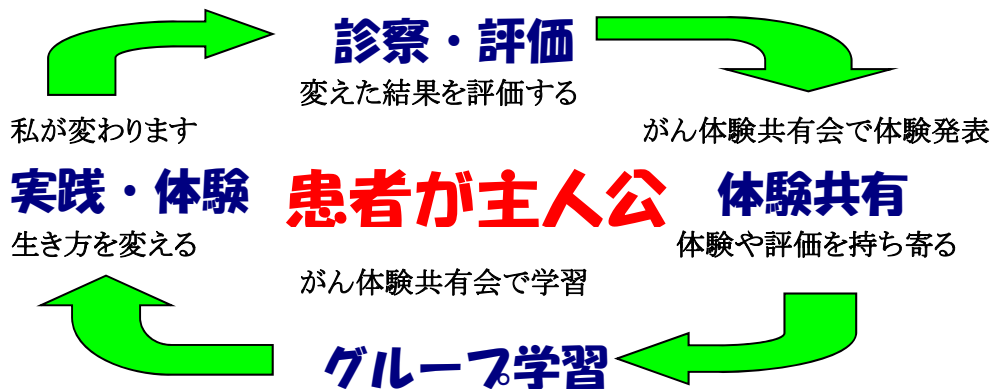
がんは生活習慣病。当会は自らの生活習慣・生き方を変えることによってがん克服を目指す人たちの学習会です。がん患者やその家族が毎月集まって下図のようにがんを克服した人の体験や、お互いの体験に学び合います。学んだことを実践体験し、その効果を医療機関で検査し、その結果を持ち寄って、会で発表・共有します。

その環を廻し続ける中で、自分に合ったがん克服法・生き方を見出そうという会が「がん体験共有会」です。がん患者やその家族であればどなたでも参加できます。

患者が主人公の医療の実現「がん体験共有会」

がんになっても安心して暮らせる社会を目指して

医療機関による検査・サポート



- 開催日時 : 毎月第2金曜日13:30~16:30
内 容 : 体験報告又は講師講演1.5H,グループ討議・自己紹介1.5H
開催場所 : 男女共同参画センター「アミカス」西鉄高宮駅構内
参加料 : 1000円・定員 50名(事前申込厳守)
申し込み先: 会の世話人代表 山口(090-8835-5736)
参加資格 : がん患者又はその家族、世話役が認めたサポーター

※第19回例会のご案内

- ① 日時:6月14日(金) 13:30~16:30、会場・参加料などはは上記のとおりです
② 体験発表 13:30~15:30 体験発表者 須藤久仁恵さん(61才)

テーマ:「あなたの心と身体を抱きしめよう」

病歴 2007年12月 乳がん告知(右) 2008年2月 熊大病院で温存術。

入院後、同室の患者さんが全員再発・転移・肺炎になっている方ばかり。

手術だけうけたものの、その後の病院での治療を断る。玄米菜食や生活スタイルを変える、心の問題を解決する、などの自助療法で元気を取り戻す。

心と身体をないがしろにし続けてきた。心の、身体の悲鳴が、私の身体にガンとして現れた。ガンは「生き直しのビッグチャンス」。生き直しを教えてくれたカミサマからのメッセージ。ということを最近しみじみと感じています。

と語られる須藤久仁恵さん。3月例会での講演に続いてのアンコール出演です。

3月の例会では、病気もストレスも、辛かった思い出も・・・全ての原因は自分で作り上げたものだ気づきました。自分が変われば、周りも変わる、ストレスも不安も消えてゆく。出席者者全員が納得して感動いたしました。

今回はマインドマップに時間をかけて、心と食事・生活の繋がりをご自身の体験を通して解りやすく話していただきます。

- ③ 15:30~16:30 自己紹介及びテーマ討議

がん体験共有会 世話人代表 山口勝己